（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所　さくら			
○保護者評価実施期間	令和7年12月22日	～	令和8年1月16日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	26	（回答者数）	20
○従業者評価実施期間	令和7年12月22日	～	令和8年1月16日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	10	（回答者数）	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児童は養育センターの卒園児の為、移行の際は丁寧な引継ぎを行うことができ、年度途中でも前担当職員と情報共有ができる。	・前年度に年長児を担当していた職員を、4月からさくらの職員に配置している。	・支援を継続して行うことができるように、養育センター職員と情報共有をしながら体制を整える。
2	・施設内には、遊戯室、感覚統合室、スヌーズレン室、園庭など、様々なスペースがあり、利用児童の状態に合わせて使用することが出来る。	・養育センターの活動や行事などで、使用したい部屋が重ならないように、事前に打ち合わせをして調整をしている。	・利用児童の状況に合わせて、別室で個別対応が必要な場合に臨機応変に対応できるような職員の配置と、職員間での情報共有が必要。
3	・支援学校勤務など、様々な職種を経験した職員がおり、支援についてお互いに相談をしたり、アドバイスを支援に生かすことができる。	・毎日ミーティングをすることで、子どもの困り感についてタイムリーに情報共有をしながら、解決策をお互いに意見できる場を設けている。	・さくら以外での子どもの様子も参考にできるように、また、支援の一貫性を図るため、学校や他事業所とも情報共有が継続して必要。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・土曜日の放デイは利用人数が限られるため、利用調整をさせていただいている。	・土曜日は、職員が二人体制で支援を行っている為、利用者の人数が限られてしまう。 ・平日の支援者を手厚くするために、土曜日の職員の人数を多く配置することが難しい。	・兄弟の行事や保護者の都合で利用希望者が多い日は、担当職員以外にも出勤要請をして職員体制を整え、対応する。
2	・センター全体の会議や研修会に参加できる機会が少ない。	・職員の勤務時間の関係で、研修を受ける機会が少ない。また、利用児童の支援にあたっている職員は、センター全体での会議や研修会に参加することが難しい。	・年末や年度末は、さくら閉所日に全体職員会議や職員研修を設定する。 ・研修に参加した職員が、情報伝達を行うことで周知する。
3			

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス事業所　さくら

公表日　令和8年3月10日

利用児童数　26　回収数　20

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	2			場合によっては、バギーで過ごすこともあるようなので。	障がい特性や人数の状況によっては、お子さんの安全確保を第一に、一時的にバギーを使用したり、部屋を分けて対応させていただくことがあります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	2		4	土曜日預けにくい。	平日の支援者を手厚くするために、土曜日の職員の人数を多く配置することが難しい状況で、ご迷惑をおかけしております。利用希望者が多い日は、担当職員以外にも出勤要請をして職員体制を整えることも検討しますので、ご相談ください。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1		2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19			1		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19			1	スキルの高い支援を受けていると感じている。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	17			3		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1		3		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5		1	12		・地域との交流については、現状難しいですが、今後も検討していきたいです。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17			3	なかなか参加できなくてすみません。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18			1	丁寧な連絡ノートです。ありがとうございます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18		1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	2	1	7		

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15			4	職員間の情報共有が徹底されていると思います。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	1		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14		1	5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14			6		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	18			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17			3		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20				学校とイーハトーブさんでは笑顔が違います。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	1			利用日を増やしたり、土曜日に預けやすかったり、平日も17：30まで可能だと仕事の時間も増やせる。	限られた職員体制で対応をさせていただいているため、ご迷惑をおかけしております。利用希望者が多い日は、担当職員以外にも要請をして職員体制を整えることも検討しますので、ご相談ください。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス事業所　さくら

公表日　令和8年3月10日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	・利用児童や特性、やりたいことを尊重し、部屋を分けて活動している。 ・活動や個々の特性に応じて部屋を分けたり、パーテーションで仕切ったりして工夫をしている。	・利用人数や車いすの使用などを考慮して安全を確保するために、併設している児童発達支援センターのホールを借りるなど工夫をしています。 ・長期休みの利用時に、スヌーズレンルームを活用するなどの工夫をしているが、障害特性に応じたクールダウンができる部屋があれば良い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	2	・利用人数によって事務所の職員に声をかけて、職員を手厚くする時間帯がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	・食事やおやつ、宿題や課題等に取り組む場と、自由遊びができる場と活動に合わせた設定をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		・曜日によって担当を決めて掃除を行っている。ミーティングで管理の注意点をあげて共有している。	・遊具や教材の置き場所から必要な時にタイムリーに探せない時があり、その都度の片付けが必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	・感覚統合室やスヌーズレンルーム、ホールなどを利用したり、部屋を区切って活用できている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		・毎日ミーティングを行いながら、支援計画に対して質問をしたり、アドバイスをもらったりしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	・ミーティングで話し合ったり、相談できる関係性や環境をいただいている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	2	・勤務年数に応じて研修を受けたり、他職種の話を聞いたりできる機会がある。 ・時間帯で、放課後等デイサービスの職員が参加できない場合もあるが、資料や研修内容の報告等を閲覧できるようになっている。	・職員の全体研修は支援時間と重なっているため、スタッフが平等に参加できていない。
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・相談→作成→確認と日ごろの支援、児童の観察を反映しながら支援計画を立てている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・職員間で児童の話をする際に、児童目線で思いに寄り添った意見が活発だと感じる。 ・相談支援専門員と連携が図られている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	9		・書類をコピーして、さくらのスタッフ全員が確認できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		・毎日記録を行い、できるだけ支援計画に沿ったものにしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		・それぞれの児童の様子を観察し、できるだけ応じたものになっている。 ・ミーティングの際に、家族支援の共通理解もされており、チームで取り組む体制ができている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1		

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		・個人に寄り添った目標を設定している。 ・個々の成長を促すように声掛けをしている。興味の広がりやできることが増えている。集団の活動の中でも個を大切にしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		・ミーティングを毎日行い、記録をして振り返りができるようになっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	8	1	・支援終了後、時間の都合上難しいこともあるが、その日に課題としてあげ、次の日にミーティングで共有話し合う時間を設けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		・相談支援専門員と連携している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8	1	・課題に沿いながら、遊びや活動計画のねらいに盛り込まれている。 ・長期休みは、制作、散歩、園外体験などの活動を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1	・制作で色を選択したり、質問をするやり取りなど、自分で選ぶ経験を大事にしている。 ・イラストや写真カードなど、子どもが自分の意思を伝えられるようなツールの活用がされ、一人一人を尊重している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		・バスの送迎時や、確認事項の電話連絡、情報交換などを行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	9			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	4	・他事業所と並行利用している児童の見学等、相談支援専門員を通して話を聞くことができる。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		・懇談会で行う計画を立てていたが、参加者希望者がなく、実施できなかった。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		・放デイ契約時に説明を行い、変更があった際はその都度説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	9			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	1		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		・ヒヤリハットを上げたり、職員間で情報を共有しながら迅速な対応を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1	・コロナをきっかけに行事等の規模を縮小しているため、地域住民の招待はできていない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		・各避難訓練は定期的に行っている。（放デイ利用児童は、長期休みに参加できるようにスケジュールを組んでいる。）	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		・実践的な研修や訓練が行われている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	8	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・怪我等があった際はヒヤリハットをあげて、迅速に対応している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9			